

反弾圧・支部 激励、交流

幕張支部、支部間交流集会かちとる

5月6日正午より、幕張支部は、館山・勝浦・千葉縣・新小岩の四支部からの激励団20名の仲間を迎え、本部からも水野副委員長、南総務部長、吉岡組織部長の出席を得て総決起集会を開催し、140名の結集で成功を勝ちとりました。

総決起集会に先んじて支部では青年部を中心に4月23日より連日籠城体制を敷き、「滝口書記長を守れ、不当弾

白井幕張支部長、 本部水野副委員長から 決意と方針

集会は、幕張支部篠塚副支部長の司会で始められ、昌頭支部を代表して白井幕張支部長が「滝口支部書記長はじめ6名への不当弾圧を断固粉碎し、強まってい

「完全黙秘・不退転で 叩い、勝利する」

吉野内、滝口両氏が
鮮明な決意
両氏の発言をうけ4支部からそれぞれ福原(倉山)、中村(勝浦)、白井(千葉縣)、佐藤(新小岩)各執行委員は熱烈に激励・連帯の決意表明を行い、集会在最高潮に達した中、不当出頭命令攻撃をかかけられている吉野内、

圧を許すな、動労本部「革マル反動分子一掃」をあい言葉に、怒りの総決起行動を展開してあり、当然にもこうした熱気が集会をいやが上にも盛り上げるといった空気のなかで集会は開催されました。

また佐倉支部でも同時に総決起集会が開催されており、動労千葉の底力をさし示しました。

幕張支部通信員・発

当弾圧を粉碎する。デューチあげを行つた革マルを必ず一掃するためには千三百の最優先で叩き抜く」と、火の出るような決意で全参加者にアピールしました。

集会は最後に本部吉岡組織部長、石幡支部青年部長の提起と決意表明を行ない終了しました。

集会終了後、激励団は職場訪問と見学を行ない、引つづき交流会へと参加してゆきました。交流会は、マル生粉碎闘争の歴史教育、マル生・反弾圧・反合を中心に話が飛び交い、先輩者からも積極的に発言され内容的にも充実したものでした。かちとられました。6名の仲間と家族を支え、不当弾圧を粉碎しよう！

御礼

幕張支部組合員一同
ちんぽく 滝口 誠

全ての組合員の皆さん、「白井」の紙面をお借りして、この間の幕張支部ならびに滝口支部書記長に対する物心両面にわたる各支部からのあたたかい激励・差し入れに心よりお礼申し上げます。幕張支部二三〇名は、これからも千三百組合員の先頭で奮闘することをお約束し、おれとさせていただきます。

組合員各位殿

82-5-11

No. 1040

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五六(会務)四五七二〇七